

2021年12月15日
Japan TeamOncology Program (J-TOP)

「みんなでつくるがん医療プロジェクト」 Team C パートナー支援募集

がん社会のウェルビーイングを推進すべく、非医療者を巻き込んだ異業種ネットワークを構築。

2002年の発足以来、ビジョンとして「患者だけでなく、非医療者、各分野のステークホルダーが参加する、がんチーム医療の実現」を掲げ活動してきた Japan TeamOncology Program (以下 J-TOP) は、20周年を期に、医療外の企業や団体との連携強化を図るため、企業や各種団体と連携する取り組みとして、「みんなでつくるがん医療プロジェクト」を発足いたします。

そこで、本取り組みの第一弾として、12月15日より、第1期 Team C パートナーを、業界の垣根を超えて、ひろく募集します。

【1】活動支援のお願い ～代表あいさつにかえて

がんは、2人に1人がかかる病気です。つまり、誰にとっても、決して他人事ではありません。私たち J-TOP は、患者さんを思う熱い心をもって、がん医療向上のため、日々活動しています。しかしながら、医療だけでは、がん患者さんにとって暮らしやすい社会を作ることはできません。「病院の中」の医療がいくら充実しても、「病院の外（社会）」で充実した日々を過ごせるとは限りません。

だからこそ、ひとつのチームとして、企業の皆さまと一緒に、プロジェクトを創っていきたい。そう考え、今回のプロジェクトを立ち上げました。

皆さまの会社にお勤めの方やご家族が、がんと診断されても働きやすく生きていくためには、どうしたらいいのでしょうか？ 皆さまの商品を、がんを抱える人たちにとって、使いやすくするためには、何ができるのでしょうか？ 多様なアンメット・ニーズを見つけ出すためには、どんな対話が必要でしょうか？ そもそも、皆さまの会社から見て、がん医療はどうあるべきでしょうか？

日本経済を支える皆さまに、ぜひ、がん医療の現実を知って頂きたいです。私たちの強みはつながりです。日本全国だけではなく、アジアにもネットワークを広げる J-TOP の強みをご活用いただき、御社の発展にお役に立てるなら、一層うれしく思います。

がんがあっても当たり前生きていける社会を一緒につくる、一緒に問題を解決する。そんなパートナーとなれる企業の皆さまとの出会えることを、J-TOP 一同、楽しみにしております。

ぜひ、ご支援、ご指導を宜しくお願い致します。

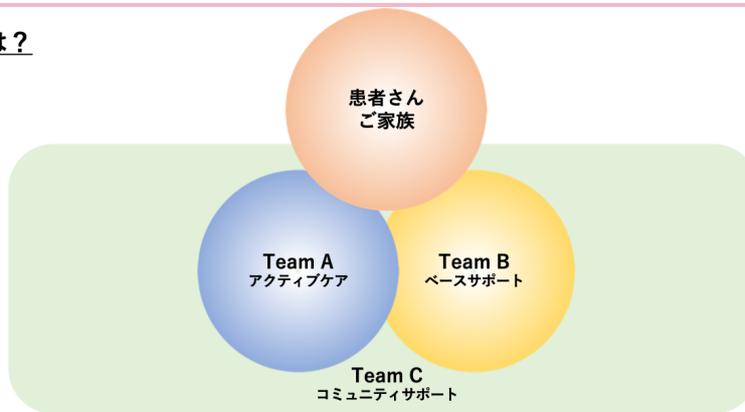
【2】J-TOP が掲げる「Team C」とは？

J-TOP が掲げる「Team C」は、「Team ABC 理論」に由来します。A、B、C の3要素が一体となっ
てはじめて、総合的ながん医療が提供できるとする概念です。それぞれ、アクティブケア (A)、
ベースサポート、(B)、コミュニティサポート (C) を意味します。

医療従事者である Team A と Team B が協力することはもちろん大事です。しかし、それだけで
は足りません。非医療提供者を含んだ Team C (コミュニティサポート) までが参画する環境を生み
出すことで、最善の方法を提案することができます。

直接的な治療こそ行わないものの、基礎研究や医療以外のサービスを通じて、がん患者さんおよ
び社会のウェルビーイングを推進する力となる存在なのです。

ご参考) ABC理論とは？



Team	役割	職種の例
Team A アクティブケア	科学的根拠に基づいた医療や倫理観に基づく合意のもとに、がんに伴う医学的問題を解決し、患者の健康と満足度を高める。チーム医療の提供により医療の質向上を目指す。	医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など
Team B ベースサポート	患者が自分の気持ちや意向を表現でき、問題に対処できるように支援する。ひとりひとりの患者がもつ価値観や意向を理解できるよう医療者・患者間および医療者間の調整を図ることで患者の治療満足度を高める。	公認心理師・臨床心理士、臨床宗教師、認定遺伝カウンセラー、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカーなど
Team C コミュニティサポート	研究開発および直接的な医療以外の支援（法律の立案、資金の確保、医療や研究の啓発、環境整備など）を通じて、Team A、Bの機能促進に必要な基盤を提供し、質の高いがん医療を共創する。	企業、患者団体、研究職、製薬会社、社会、政府、ソーシャルワーカーなど

Ueno NT 等, Nat Rev Clin Oncol 2010より引用改変

【3】J-TOP が支援団体さまに提供できること

① がん医療の最前線で活躍する現役医師、医療従事者たちとの対話環境

- J-TOP に所属する医療従事者は、ABC 理論のもと、医療の外の企業さまとのコラボレーションの意義を実感しています。ですので、健全な企業活動の先に、患者さんの幸せが確信できる場合には、様々な対話や交流を図ることができます。
- 医師や薬剤師、看護師など、様々な医療プロフェッショナルが集まる団体のため、「がんと生活」に関する、より広い領域への理解があります。

② 患者団体など、様々な医療関連ネットワーク

- 全国に点在する J-TOP メンバーは、それぞれが独自ネットワークを開拓し、活動しています。そのため、全国対象の活動はもちろん、特定エリアに限定した深い展開も可能です。
- 医療提供者側だけではなく、医療を受ける患者さんの団体ともコネクションがあります。

③ あらゆる人間にとって、他人事ではない「がん医療の現場」の理解と実態把握

- がんは特別な病気ではありません。がんを抱えて生活する人はみなさんの身近におられます。
- 企業活動におけるお客さまはもちろんですが、従業員やそのご家族に対するケアについて考える際にも、J-TOP の知見はご活用いただけます。

④ 世界水準のチーム医療を支える、リーダーシッププログラムや研修システムの共有

- J-TOP は、「医療界の松下政経塾」とご紹介いただくことが多い団体です。医療従事者を対象に、リーダーシップなどの学びの機会を提供してきました。
- 欧米では、ダイバーシティやインクルージョンといった観点から、自己理解・他者理解を深めるための人事施策・ワークショップが盛んです。日本でもその流れは強まっているかと存じますが、企業さまと医療界が、学び合う機会として、J-TOP をご活用いただくことができます。

⑤ がん医療の知見を生かした、企業活動の促進（リサーチ、アイデア共創など）

- 医療の現場ですので、直接的な販促活動などは馴染みません。しかし、真に患者さんやそのご家族の、より良い生活につながる活動であれば、J-TOP は積極的に支援し、共創環境を整えてまいります。それが、がん患者の QOL 向上に直結すると確信しているためです。
- J-TOP 所属メンバーはボランティア活動として参画しているため、特定団体の意向などを考慮せず、フラットに患者さんの人生にとって、より良い選択肢を考え、実践することができます。

【4】支援企業さまとのパートナーシップ・プログラム例

パートナーの皆さまには、活動資金の一部を、ご支援を頂けますと幸いです。パートナーシップのリターンとして、次のような内容を想定しております。もちろん、企業さまや団体さまでニーズは様々だと思しますので、下記をベースに、個別協議のうえ、最適なプログラムを設定できればと思っております。

パートナーシップ・プログラム例

	A 案	B 案	C 案
J-TOP HP 内での企業ロゴ掲載	お好きな プランを 1つ お選び ください	お好きな プランを 1つ お選び ください	お好きな プランを 1つ お選び ください
パートナー企業・団体内での J-TOP ロゴの掲載			
日本あるいは世界で著名ながん医療者との交流イベントへの参加権			
共同プレスリリースの発信			
「がん教育の社内向けセミナー」 ：JTOP 出身の日本あるいは世界で著名な講師の派遣	X	お好きな プランを 1つ お選び ください	お好きな プランを 2つ お選び ください
新事業をお考えの場合などに、J-TOP 専門家との意見交換の場（各種アドバイス）を提供（プランにより人数が異なります）			
要望アンケートの実施			
社内教育（新人研修など）でのチームビルディング講演・ Myers-Briggs Type Indicator フィードバックなどの実施			
共創企画の相談			
想定協力金	33 万	55 万	110 万～

団体概要

主催：一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクト(住所：東京都港区新橋 2-20-15 新橋駅前ビル1号館)

事業名：Japan TeamOncology Program (J-TOP) ジャパン・チームオンコロジー・プログラム

URL: <https://www.teamoncology.com/aboutus/jtop>

主な運営メンバー：

- 一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクト理事長 福岡 正博
(近畿大学名誉教授、和泉市立総合医療センター名誉総長)
- 常務理事・発起人 上野 直人
(テキサス大学 MD アンダーソンがんセンター腫瘍内科教授)
- J-TOP 執行委員長 下村 昭彦
(国立国際医療研究センター 乳腺・腫瘍内科)
- プロジェクト実行委員長 陶山 久司
(鳥取大学医学部附属病院 腫瘍内科)

【 本件に関するお問合せ先 】

<<一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクト事務局>> 担当： 笛木 浩

TEL：080-6563-2510 E-mail：fueki@teamoncology.com